

教科	種目	意見書	発行者
美術	美術		開隆堂

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> ○美術1でのクロッキーのような基礎的な学習から、美術2・3での自分を表現したり社会や生活と関わったりするような題材へと発達段階に配慮された構成になっている。 ○美術1の「学びの地図」のページは美術の学習の全体像がとらえられるよう工夫された内容になっている。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習のポイント」や発想・構想の方法を示し、生徒の主体的な学習を促す工夫がされている。 ○生徒の発想・構想、表現方法の手がかりとして、掲載作品の「作者の言葉」を掲載し、その思いに触れて生徒がより自分の発想や構想を広げ深めることができるように、配慮されています。
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒にとって親しみやすい主題や、社会との関わりについて考えたり問いかけたりしながら作品制作に取り組めるような題材の工夫がよくされている。 ○インスタレーション等、現代美術に関する図版や写真が掲載され、多様な表現方法に関心をもったり親しんだりできるよう工夫されている。 ○鑑賞資料の一部に原寸大の掲載がされ、実感を伴う鑑賞活動の工夫がされている。
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> ○知識や技能内容を掲載しており、それらを活用して家庭での学習ができるよう工夫された構成になっている。また、バーコードリーダーを掲載しており、参考作品や技能動画を視覚的に学ぶことができる。
3	(1) 岐阜県に関わる美術の文化遺産や作品及び美術館の活用に関する活動等についての内容や分量	<ul style="list-style-type: none"> ○イサム・ノグチの作品で「岐阜提灯」、「美術館へ行こう」で「多治見モザイクタイルミュージアム」、現代陶芸美術館蔵「南蛮夢想」が紹介されている。 ○「美術館を楽しむ」では、美術館という施設のイメージも伝えながら美術館の活用も紹介されている。また、様々な美術館が紹介され興味関心をもてよい。
	(2) 写真・ビデオ・コンピューター等の映像メディアを活用した活動についての内容や分量	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコードとリンクしているコンテンツが多く用意されており、作品を360°鑑賞したり、技法を学んだりすることで、表現活動に生かすことができるよう工夫されている。また、映像メディアを用いた事例だけでなく、題材として掲載することで実践に生かせるようよく工夫されている。
4	(1) 教科書のページ数や重量	<ul style="list-style-type: none"> ○「美術1」68ページ・270g、「美術2・3」124ページ・465gの1年と2,3年用のA4ワイド版2冊にまとめられている。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> ○印刷は鮮明で美しく、見やすいレイアウトである。 ○UDフォントが使用され、障がいやその他の特性の有無に関わらず生徒が見やすいものになっている。 ○色相環の資料では、彩度の説明図に黄色系統を用いることで少数派色覚の生徒にも見やすくするなど配慮されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○領域の最初に学習の意味が分かる扉ページがあり、生徒が全題材への見通しをもって学べるようになっている。

教科	種目	意見書	発行者
美術	美術		光村図書

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<p>○美術1での身近な物をスケッチするなど基礎となる知識や技能を習得させる題材から、美術2・3では歴史や社会との関わりに広がっていくような題材へと内容の系統性や学年の発達段階に配慮された構成になっている。</p> <p>○美術1「はじめに」の部分は、図画工作科とのつながりや美術の学びについて理解できるように工夫された内容になっている。</p>
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<p>○用具や使い方によって表現方法が変わることを分かりやすく掲載しており、生徒が主題から表現方法を考える、選ぶ思考力・判断力を促す工夫がされている。</p> <p>○「学習を支える資料」が充実しており、生徒の主体的な学びを促すような工夫がされている。</p>
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<p>○インスタレーション等、現代美術に関する図版や写真が掲載され、多様な表現方法に関心をもったり親しんだりできるよう工夫されている。</p> <p>○鑑賞資料の一部に原寸大の掲載がされ、実感を伴う鑑賞活動の工夫がされている。</p>
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<p>○数名の生徒の“発想・構想の仕方”を例として掲載しており、それらを参考に、自分で学習を進められるようよく構成されている。</p> <p>○知識や技能内容を掲載しており、それらを活用して家庭での学習ができるようよく工夫された構成になっている。</p>
3	(1) 岐阜県に関わる美術の文化遺産や作品及び美術館の活用に関する活動等についての内容や分量	<p>○「日本の伝統工芸」で「美濃和紙」「美濃和紙の卒業証書」「日本の世界文化遺産」で「白川郷の合掌造り」が紹介されている。</p> <p>○「美術館を楽しもう」で美術館の利用の方法や、「美術鑑賞を楽しむ手がかり」として作品の見方を紹介している。</p>
	(2) 写真・ビデオ・コンピューター等の映像メディアを活用した活動についての内容や分量	<p>○QRコードとリンクしているコンテンツが多く用意されており、作品を360°鑑賞したり、技法を学んだりすることで、表現活動に生かすことができるよう工夫されている。また、映像メディアを用いた実践事例を掲載し参考にできるよう工夫されている。</p>
4	(1) 教科書のページ数や重量	<p>○「美術1」82ページ・310g、「美術2・3」106ページ・387gで、1年生、2.3年生用のA4判2冊にまとめられている。</p>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<p>○印刷は鮮明で美しく、見やすいレイアウトである。</p> <p>○UDフォントが使用され、障がいやその他の特性の有無に関わらず生徒が見やすいものになっている。</p> <p>○鑑賞図版では紙質が変えてあるページがあり、本物に近い感覚で鑑賞できるよう工夫されている。</p>
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<p>○一つの題材の中は「鑑賞→表現→鑑賞」で構成され、表現と鑑賞を一体的に学べるようになっている。</p>

教科	種目	意見書	発行者
美術	美術		日本文教出版

	着眼点	意見
1	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<p>○題材ページに〔共通事項〕（知識）への意識を促す「造形的な視点」を設定し、掲載作品から感じたこと、気付いたことを意識させ、活動を知識が結び付けられる工夫がされている。</p> <p>○美術 1 では身の回りにあるものの美しさに気付く題材、2・3上では表現の可能性が広がるような幅広いジャンルの題材、2・3下では自己を掘り下げると共に社会に働きかける題材が位置付けられ、発達段階に応じて学びが深まる、よく工夫された題材構成である。</p>
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<p>○各ページに「表現」や「鑑賞」といった見出しが記されており、学びが見え易い、よい紙面構成になっている。</p> <p>○生徒の発想・構想、表現方法の手がかりとなる掲載作品の「作者の言葉」に、主題・作品に込めた願い・表現の工夫が具体的に記されており、発想・構想を広げ深めるための工夫がよくされている。</p>
2	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<p>○生徒にとって親しみやすい主題や、社会との関わりについて考えたり問いかけたりしながら作品制作に取り組めるような題材の工夫がよくされている。</p> <p>○インスタレーション等、現代美術に関する図版や写真が多く掲載され、多様な表現方法に関心をもったり、実感できたりできるよう、よく工夫されている。</p> <p>○鑑賞資料の原寸大の掲載や見開き4ページ分を有効活用し、実感を伴いながら造形的な見方や感じ方を育む工夫がよくされている。</p>
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<p>○知識や技能内容が掲載されており、それらを活用して家庭での学習ができるよう工夫された構成になっている。また、バーコードリーダーを掲載しており、参考作品や技能動画を視覚的に学ぶことができるよう配慮されている。</p> <p>○全題材で「鑑賞のポイント」と「発想や構想の手だて」を位置づけ、表現と鑑賞が一体的に学べるように促している。</p>
3	(1) 岐阜県に関わる美術の文化遺産や作品及び美術館の活用に関する活動等についての内容や分量	<p>○「日本の世界文化遺産」として「白川郷（合掌造り集落）」「美術館へ行こう」では、「多治見モザイクタイルミュージアム（外観を見る）」が紹介されている。</p> <p>○2・3下「美術館へ行こう」では、美術館の「役割や楽しみ方、美術館での学び方や特色ある美術館の紹介もされている。</p>
	(2) 写真・ビデオ・コンピューター等の映像メディアを活用した活動についての内容や分量	<p>○QRコードとリンクしているコンテンツが多く用意されており、作品を360°鑑賞したり、技法を学んだりすることで、表現活動に生かすことができるよう工夫されている。また、映像メディアを用いた事例だけでなく、題材として掲載することで実践に生かせるようよく工夫されている。</p>
4	(1) 教科書のページ数や重量	<p>○「美術1」76ページ・334g、「美術2・3上」66ページ・291g「美術2・3下」62ページ・271gで、1, 2, 3年生の発達段階の違いが意識されたA4ワイド版3冊に分けられ、よく配慮されている。</p>
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<p>○印刷は鮮明で美しく、見やすいレイアウトである。</p> <p>○UDフォントが使用され、障がいやその他の特性の有無に関わらず生徒が見やすいものになっている。</p>
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<p>○用紙が厚く、扱いやすさへの配慮がある。</p> <p>○題材タイトルに、生徒の意欲を引き出す工夫がされている。</p>